

「平成25年度全国学力・学習状況調査」における

岬町の調査結果概要

平成25年10月

岬町教育委員会

全国学力・学習状況調査における本町の調査結果 平成25年10月

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称及び実施日

『平成25年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成25年4月24日(水)

3. 調査の対象

小学校第6学年（152名）、 中学校第3学年（136名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

中学校：国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

主として「知識」に関する問題

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する問題

- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

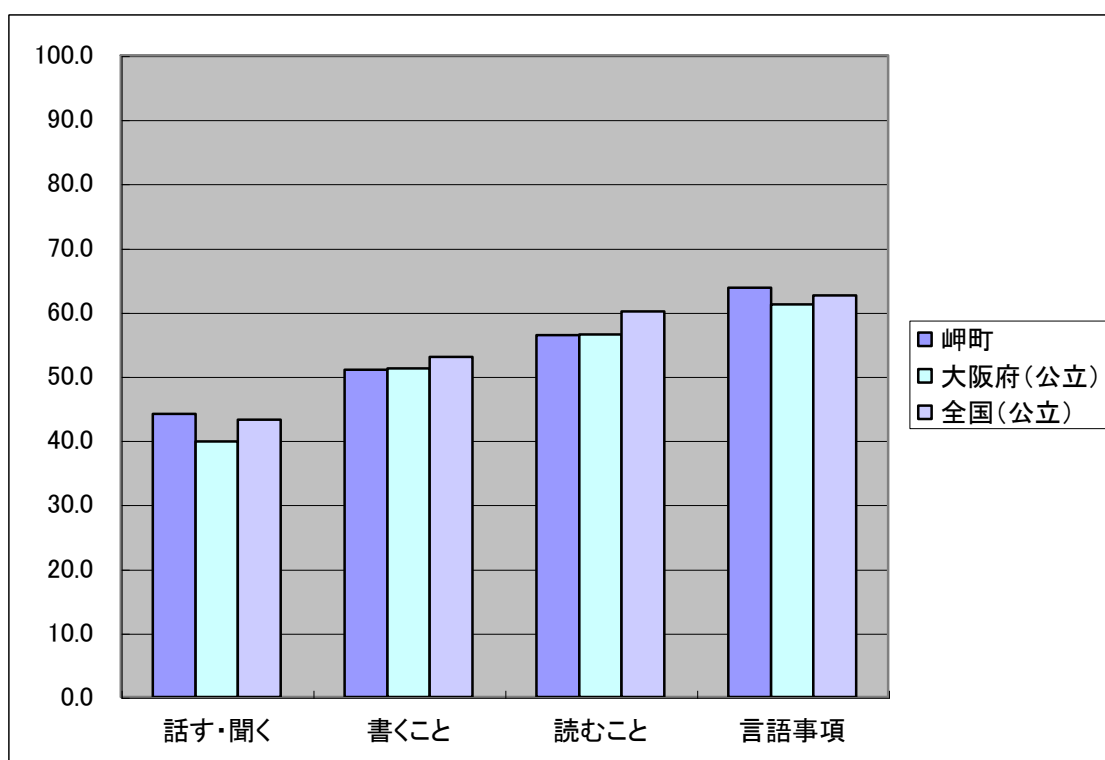
※本調査の結果は学力の一部です。

※参加児童生徒数は、公立小学校 1,108,272 名、公立中学校 1,027,458 名です。

小学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で18問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



○「伝統的な言語文化（言語事項）」については、概ね良好であり、60%以上の正答率がある。

●「書くこと」「読むこと」については、やや課題がある。

●「話すこと・聞くこと」については、府や全国の平均を上回っているが、正答率は50%を下回り課題があると言える。

◇A区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎漢字を正しく「読む」「書く」ことについては概ね良好であり、平均して70%以上の正答率がある。【ただし『バスがテイシャした』（正答率53.9%）を除く】

○ことわざの意味を理解することについて、概ね良好である。（正答率72.7%）

○接続語「だから」の意味を理解することについて、良好である。（正答率86.2%）

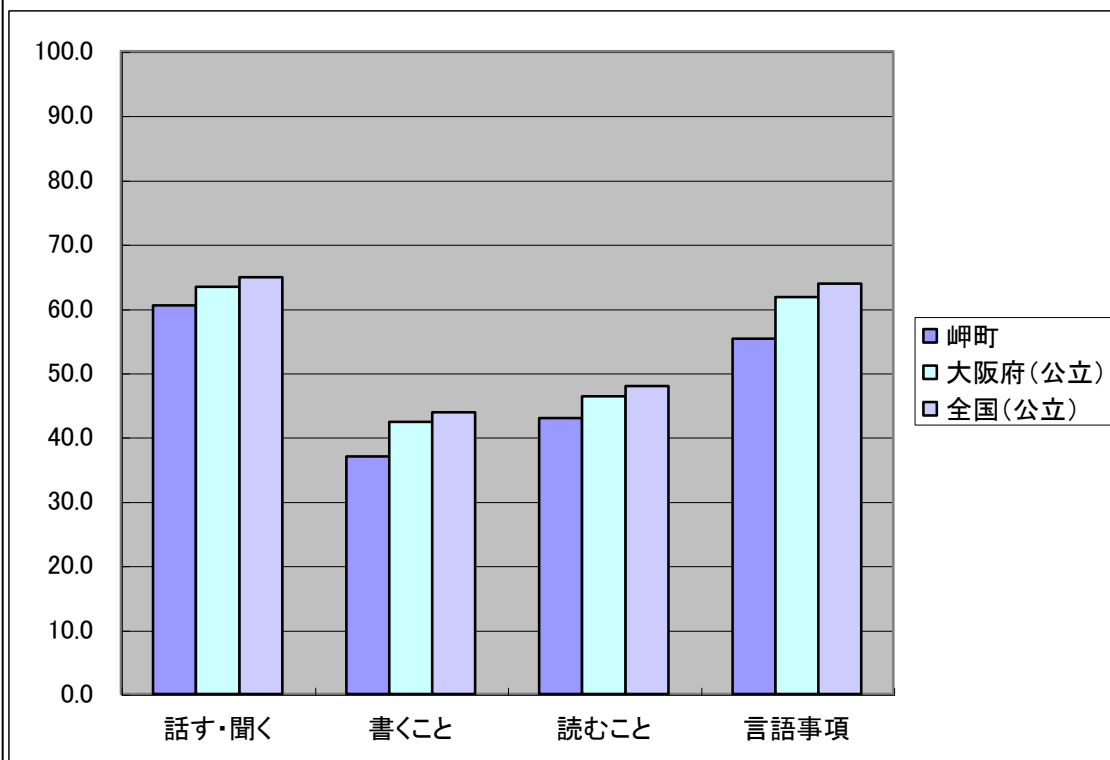
●文と文の意味のつながりを考えながら、接続語「だから」を使って内容を分けることについて、課題は特に大きい。

【例】一つの文章について「だから」を使って2つに分る。「だから」を入れた後の前後の7文字をそれぞれ書く。（正答率19.7%）

小学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で10問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「話すこと・聞くこと」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。
- 「書くこと」「読むこと」については、50%以下の正答率であり、特に課題が大きい。
- 「伝統的な言語文化（言語事項）」については、60%以下の正答率であり、やや課題がある。

◇B区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

○相手の立場や状況を踏まえ、適切に聞くことについて、概ね良好である。

【例】相手がなぜ「ほっとした様子」になったのかを説明しているものを選ぶ。
(正答率 75.0%)

○相手の立場や状況を踏まえ、効果的に助言をすることについて、概ね良好である。

【例】1人が助言している内容はどんなことかを説明する文章を書く。
(正答率 67.1%)

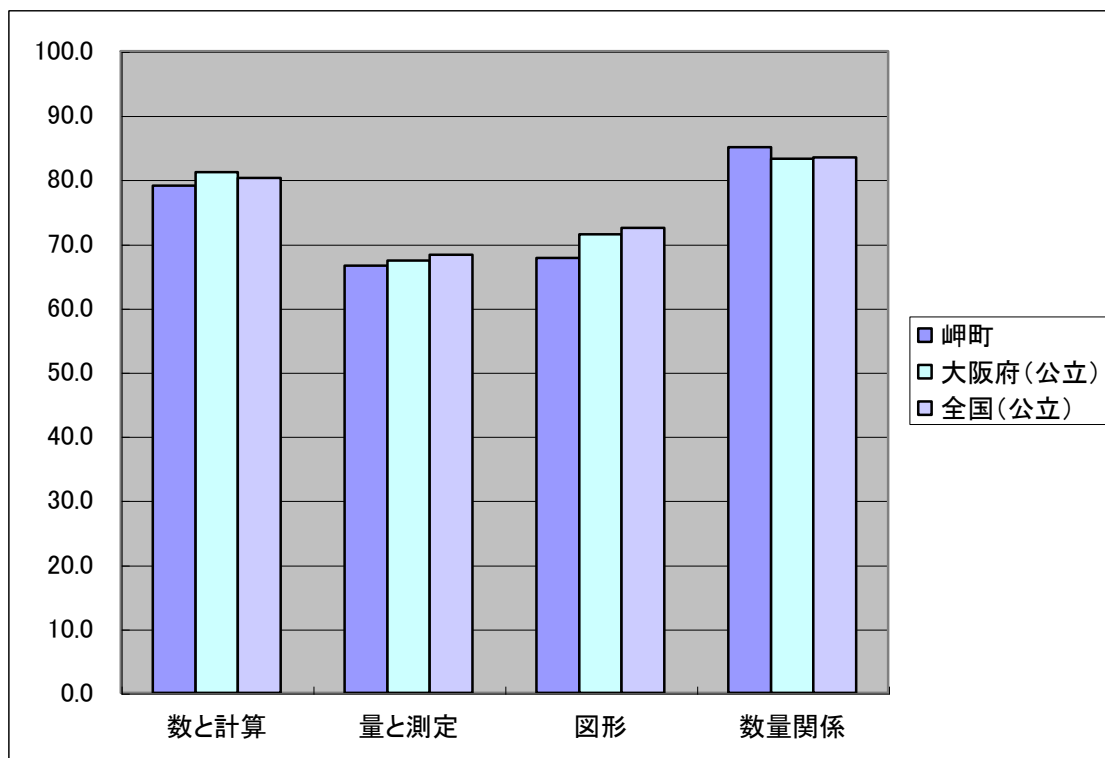
★目的や意図に応じ、複数の内容を関連付けながら、必要な内容を適切に書き加えたり、適切に引用して書いたり、自分の考えを具体的に書いたりすることについて、特に課題は大きい。(正答率 26.9%)

小学校算数A

◇問題数等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で19問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別

○「数量関係」については、80%以上の正答率があり、特に良好である。



○「数と計算」については、80%近い正答率であり、良好である。

●「量と測定」「図形」については、60%以上の正答率であり概ね良好であるが、府や全国の平均と比較して下回っており課題もある。

◇A区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎基礎・基本の計算力については、80%以上の正答率であり特に良好である。

【例】 9.3×0.8 、 $6 \div 5$ 、 $16 - (6 + 3)$ 、 $2/9 \times 4$ 、 $243 - 65$

○割合における基準量と比較量の大きさの関係を理解していることについて、良好である。【例】500gの120%の重さは です。(正答率80.9%)

●合同な三角形を書くための必要な条件を選択することについて、課題がある。

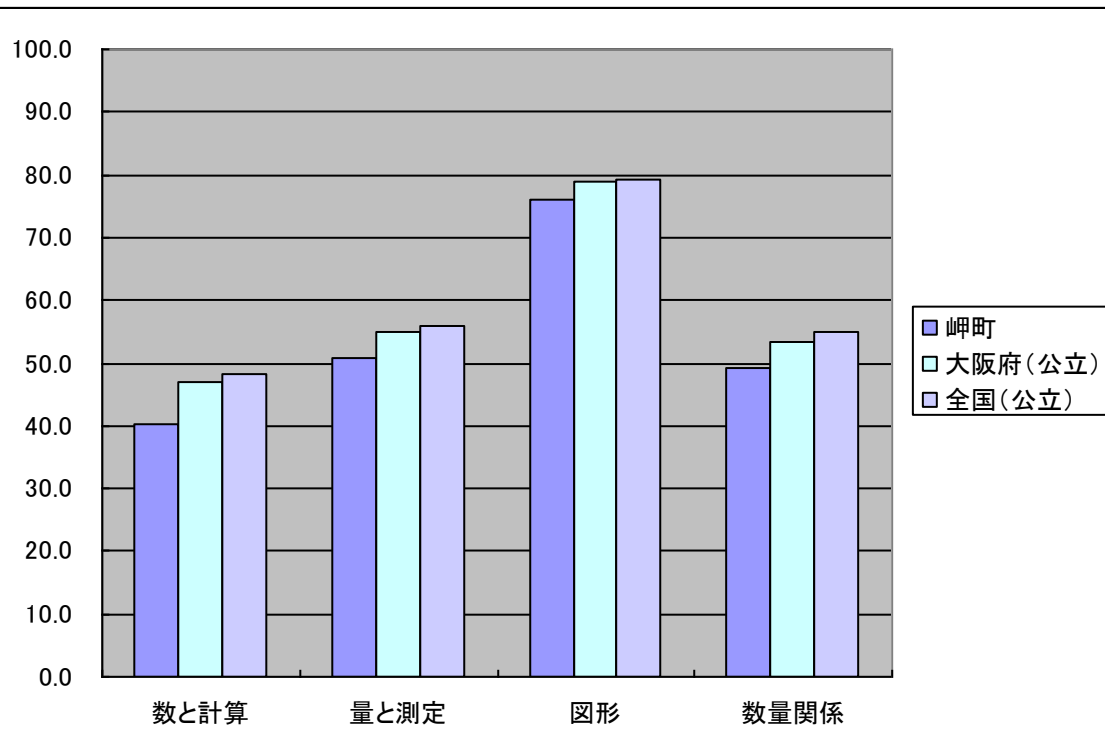
【例】同じ三角形を書くために、三角形のどこの辺の長さや角度を測ればよいか書く。(正答率57.2%)

●1a(1アール)の面積と等しい正方形の一辺の長さを求めることについて、課題は大きい。《単位の換算》(正答率50.7%)

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で13問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



○「図形」については、80%近い正答率であり良好である。

●「数と計算」「数量関係」について50%を下回る正答率であり、特に課題は大きい。

◇ B区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎棒グラフや折れ線グラフから必要な情報を読み取ることについて、60%以上の正答率であり、概ね良好である。

○2つの情報から、その意味を理解し、位置関係を特定することができることについて、特に良好である。

【例】全体座席表の中の5列10番の座席を基に、2列4番の座席を特定する。
(正答率 94.7%)

●指定された条件では、いくつかの図形の面積が等しくなることを説明することについて、40%以下の正答率であり、特に課題がある。

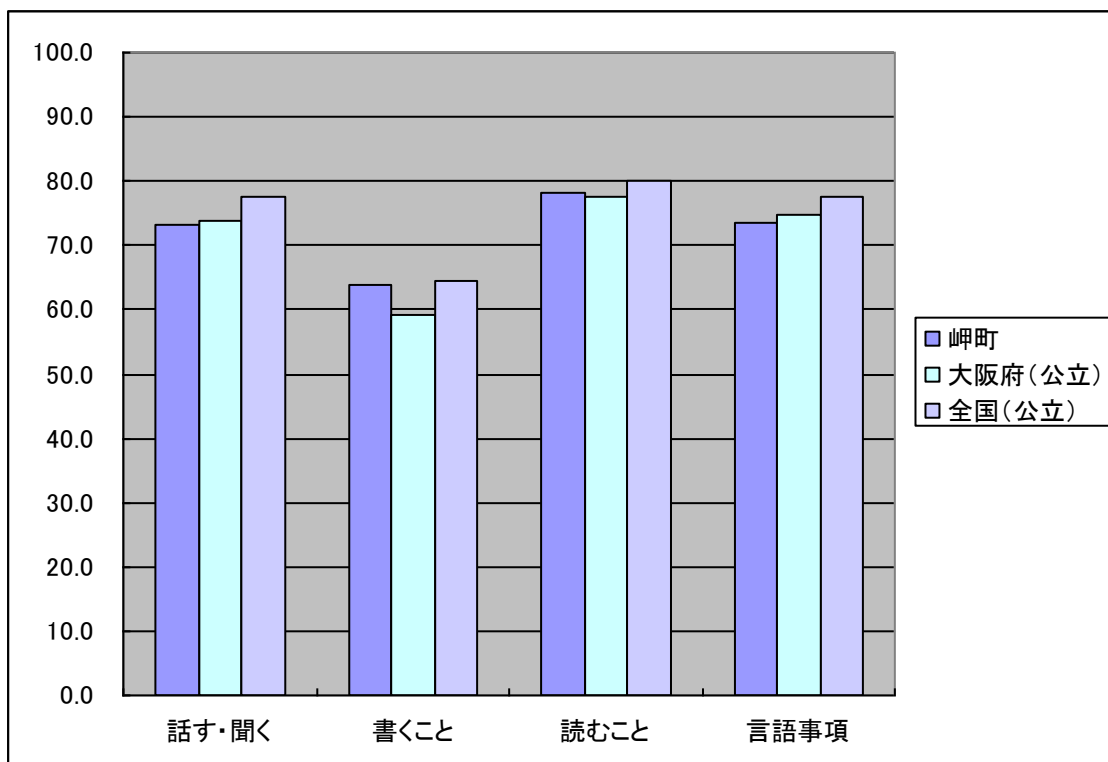
★単位量あたりの大きさを理解し、2つの数量の関係を求める方法を書くことについて、特に課題がある。

【例】3試合の総観客数は33000人でした。1試合あたりの観客数は1100人の約何倍か。求め方を式や言葉を使って書く。(正答率 38.8%)

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で32問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



○「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化（言語事項）」については、70%以上の正答率であり、良好である。

○「書くこと」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。

◇A区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎漢字を正しく「読む」ことについては、70%以上の正答率であり良好である。

○適切な敬語を選択することについては、特に良好である。

【例】食べて欲しいときに使用する最も適切なものを選ぶ。

どうぞ、。(めしあがってください。)(正答率 90.4%)

○内容を理解し段落の役割を考えて文章を構成することについて、特に良好である。

【例】文章を読み、内容に応じて、段落を2つに分ける。(正答率 80.9%)

●漢字を正しく「書く」ことについては、課題がある。

【例】『キントウに分ける』(正答率 52.2%)・『着物のオビを選ぶ』(正答率 52.9%)

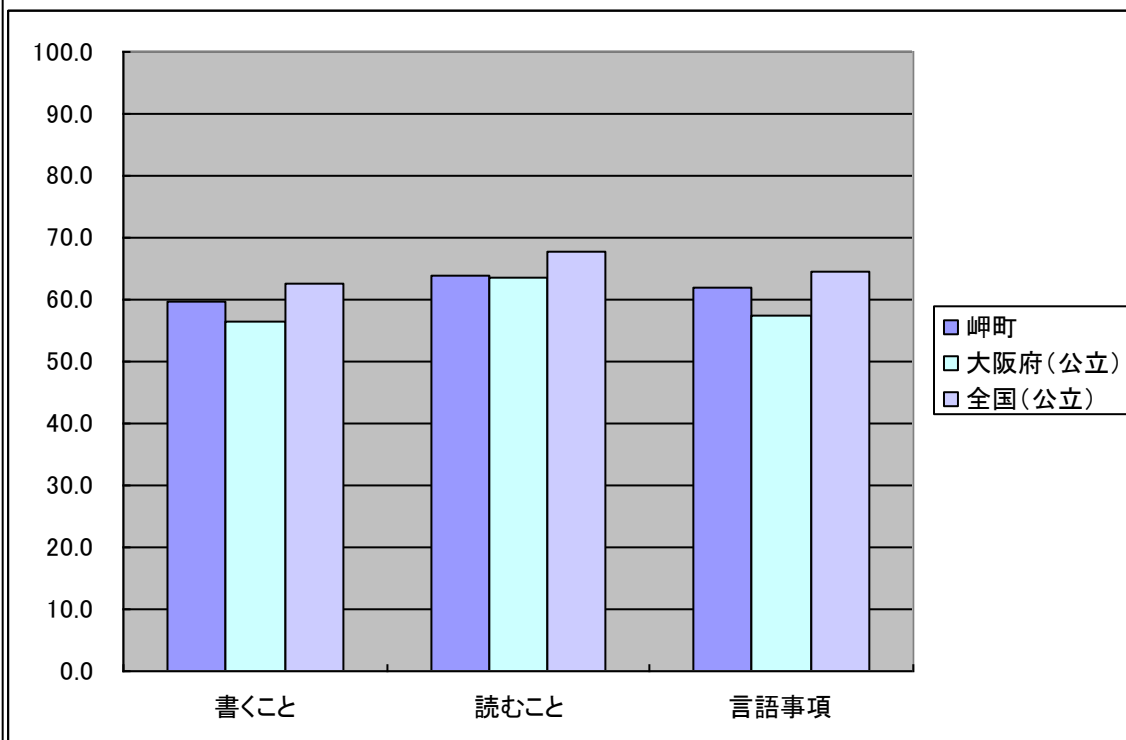
●比喩を用いた表現について理解することについて、課題がある。

【例】「さくら さくら」の歌詞の『かすみか 雲か』の部分で、『かすみ』や『雲』に見えたものは何かを書く。(正答率 47.8%)

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別 (「話すこと・聞くこと」に関する出題なし)



○「読むこと」「伝統的な言語文化(言語事項)」については、60%以上の正答率であり概ね良好である。

●「書くこと」については、60%以下の正答率であり、やや課題がある。

◇B区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

○『文章の展開に即して内容を捉えること』『表現の仕方について注意して読み、その効果を考えること』については、70%以上の正答率であり良好である。

○文章の内容について自分の考えを、根拠を明確にして書くことについては、60%以上の正答率であり概ね良好である。

●自分で課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることについては、やや課題がある。

【例】本文を読んでさらに調べたいことを決め、20字～50字で調べる手段を具体的に説明する。(正答率 55.5%)

●文章の構成や表現の特徴を捉えることについては、やや課題がある。

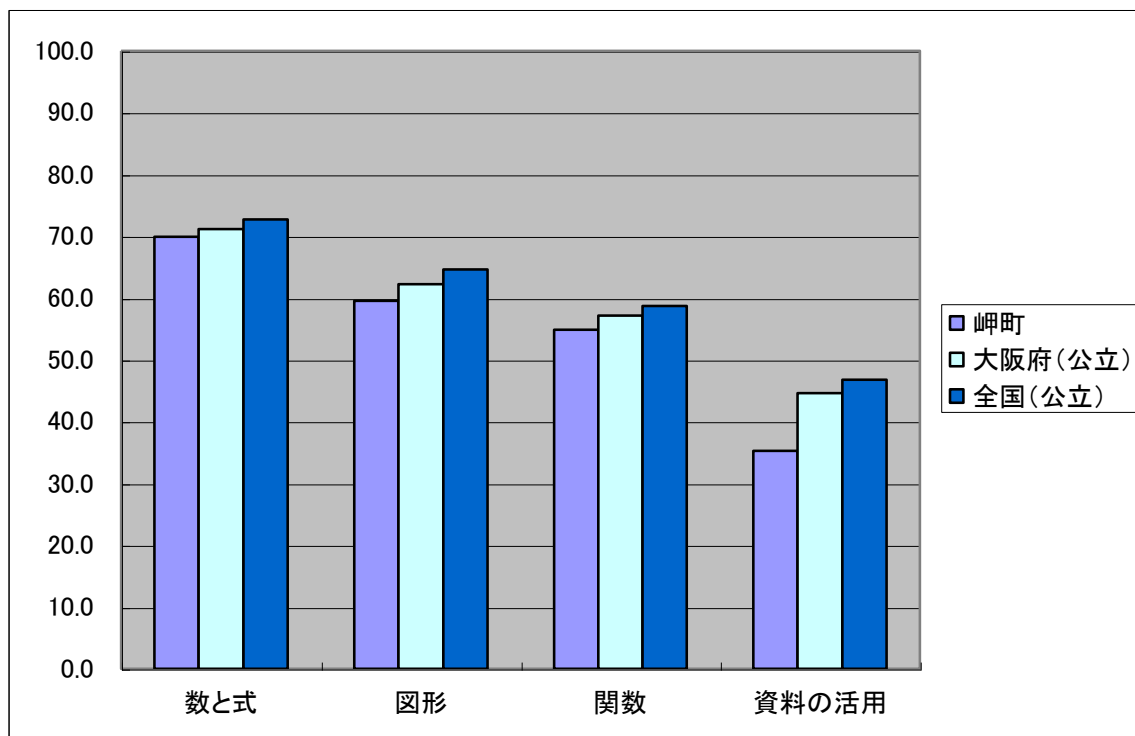
【例】提示された新聞記事を読み、書き方の特徴を説明したものを選ぶ。

(正答率 56.2%)

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で31問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「数と式」については、70%の正答率であり良好である。
- 「図形」「関数」については、60%以下の正答率であり、やや課題がある。
- 「資料の活用」については、40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

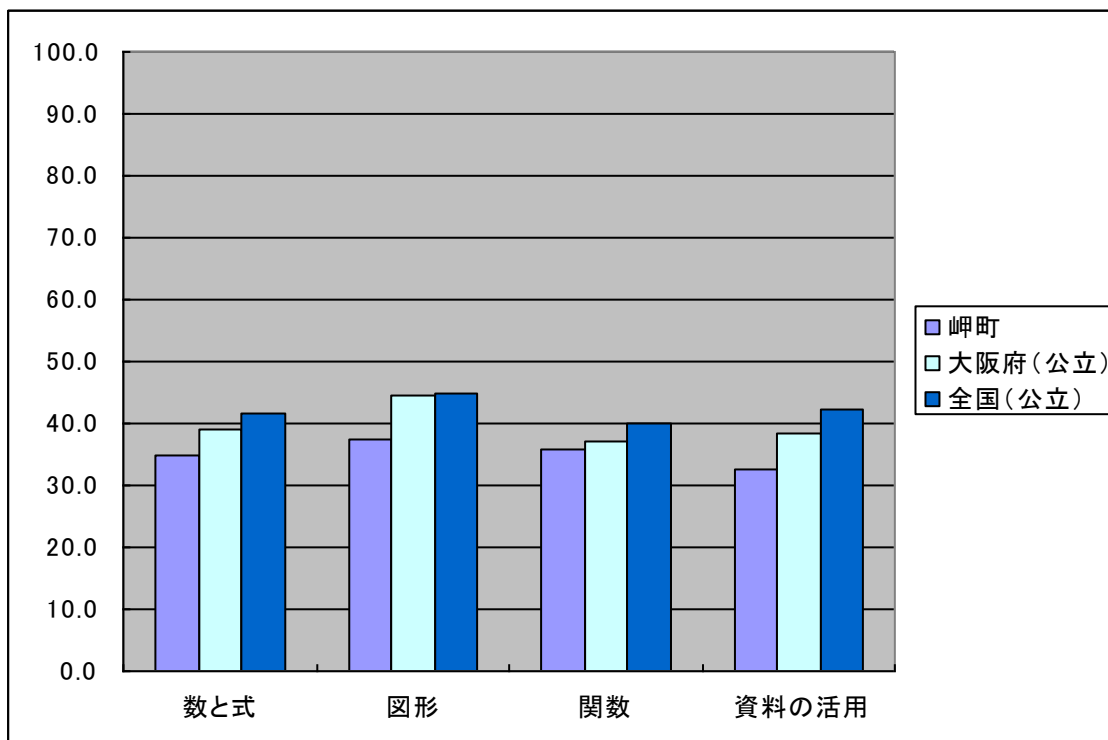
◇ A区分問題にみえる課題等

- ◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶
- 『分数の乗法の計算』『()を含む正の数と負の数の計算』について、良好である。
【例】 $5/8 \times 3/4$ (正答率 85.3%) 【例】 $5 \times (4-7)$ (正答率 91.9%)
 - 図形の拡大図をかくことについて、良好である。(正答率 86.8%)
 - 平均値の意味を理解していることについて、良好である。(正答率 80.9%)
【例】35人のハンドボール投げの平均は21mであり、その際必ず言えることを選ぶ。(35人の記録の合計を35で割ると21mである。)
 - 関数の意味を理解することについて、特に課題がある。(正答率 15.4%)
【例】 y が x の関数であるものを選ぶ。(整数 x の絶対値 y)
 - 確率の意味を理解することについて、特に課題がある。(正答率 16.2%)
【例】硬貨を投げ、表の出る相対度数を調べる際、正しいものを選ぶ。
(投げる回数が多くなるにつれ、ばらつきは少なくなり、相対度数は0.5に近づく。)

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で14問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



●全体的に40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

★記述式の問題に無回答率が50%以上のものがあり、特に課題は大きい。

◇B区分問題にみえる課題等

◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎表から必要な情報を選択し処理することは、概ね良好である。

【例】グラフを見て、水温は10分間で何度上昇したかを求める。(正答率70.6%)

★事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて、特に課題は大きい。(正答率23.5%) (無回答率50.0%)

【例】水温が80℃になるまでにかかる時間の求める方法を説明する。

★資料(ヒストグラム)の傾向を的確に捉え、特徴を数学的に説明することについて、特に課題は大きい。(正答率14.0%) (無回答率63.2%)

★事象と式の関係を的確に捉え、事象が成り立つ理由を数学的に説明することについて、特に課題は大きい。(正答率18.4%) (無回答率60.3%)

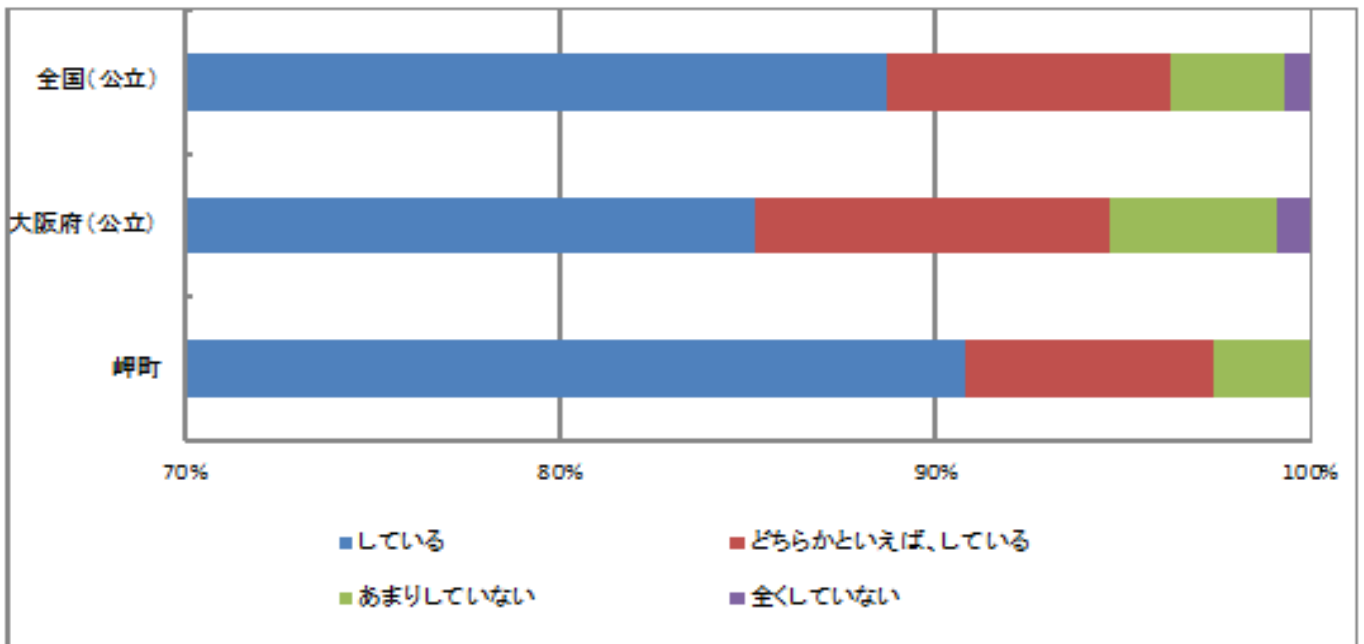
【例】正三角形の辺上に並べられた基石の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する。

岬町の子どもたちの生活の様子

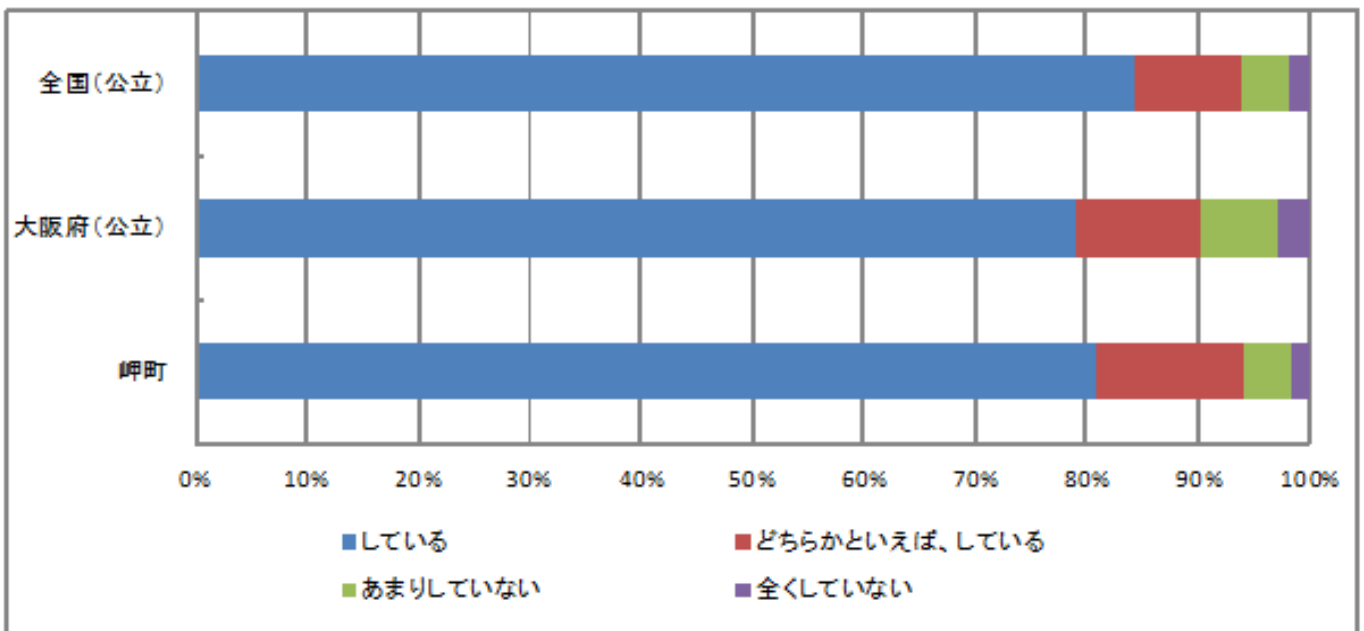
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

1, 朝ごはんを毎日食べていますか（小学校）



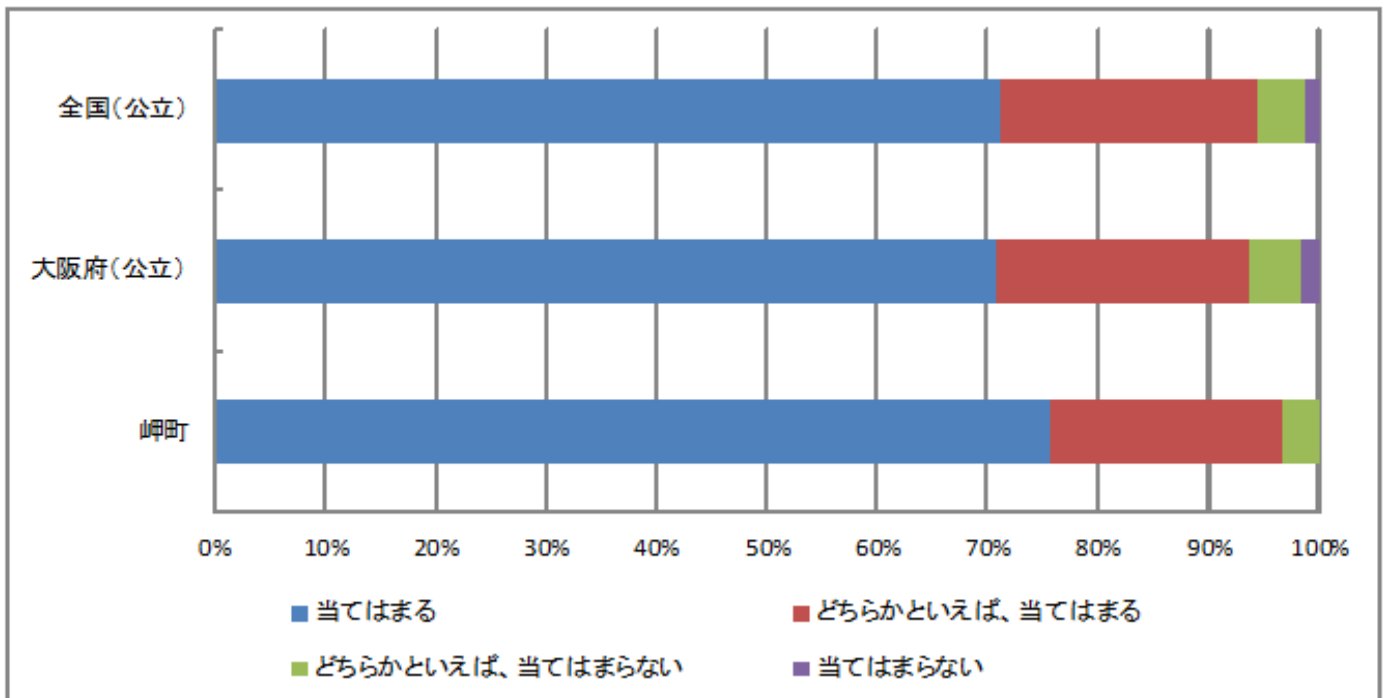
1, 朝ごはんを毎日食べていますか（中学校）



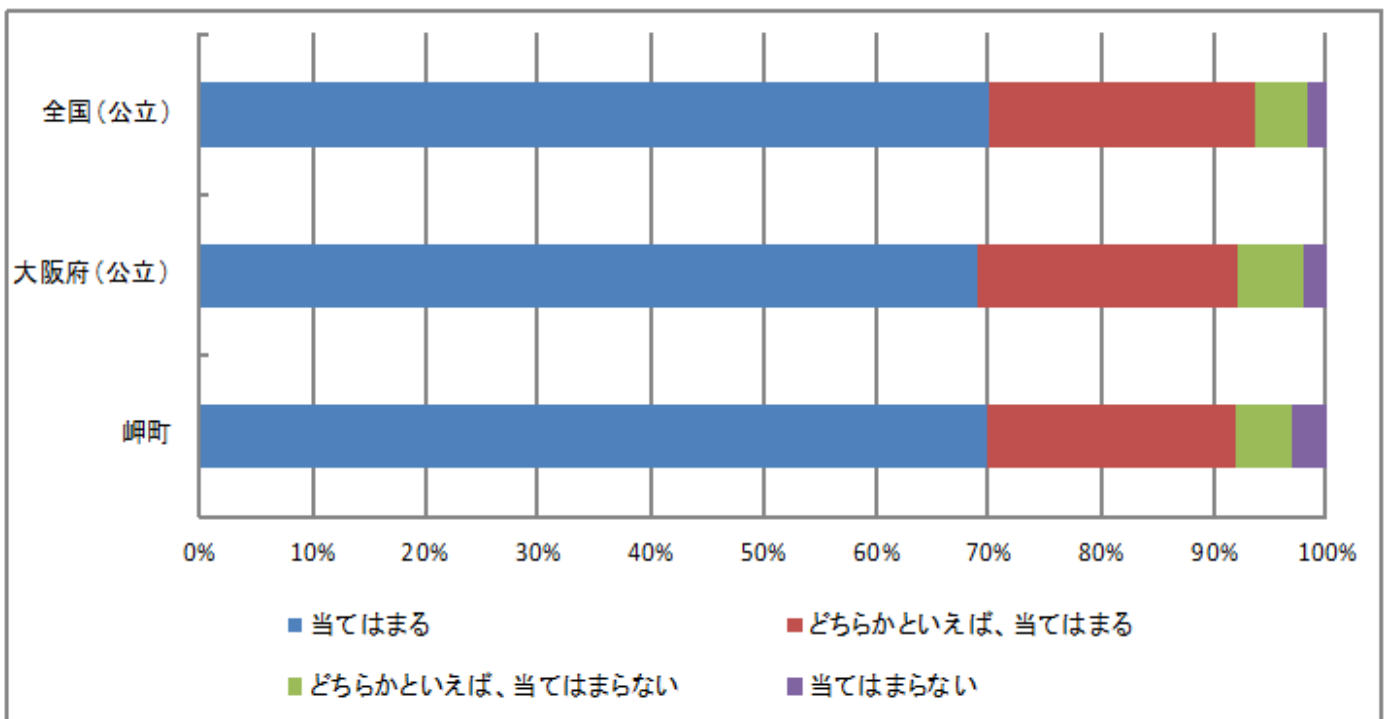
◎「している」「どちらかといえばしている」割合は、小中学校ともに90%を超えている。

●「していない」「どちらかといえばしていない」の児童・生徒について、状況を把握し家庭に対して丁寧な働きかけを続けていく必要がある。

2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（小学校）

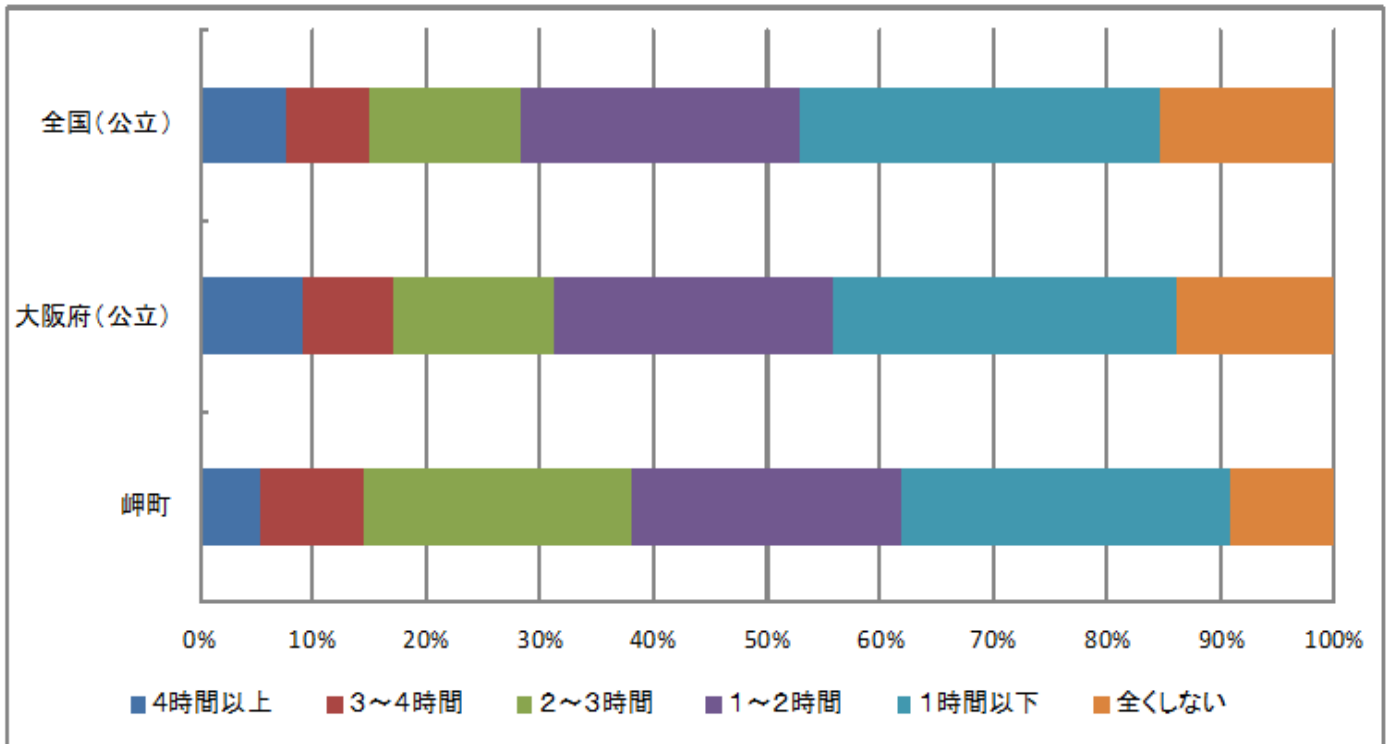


2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（中学校）

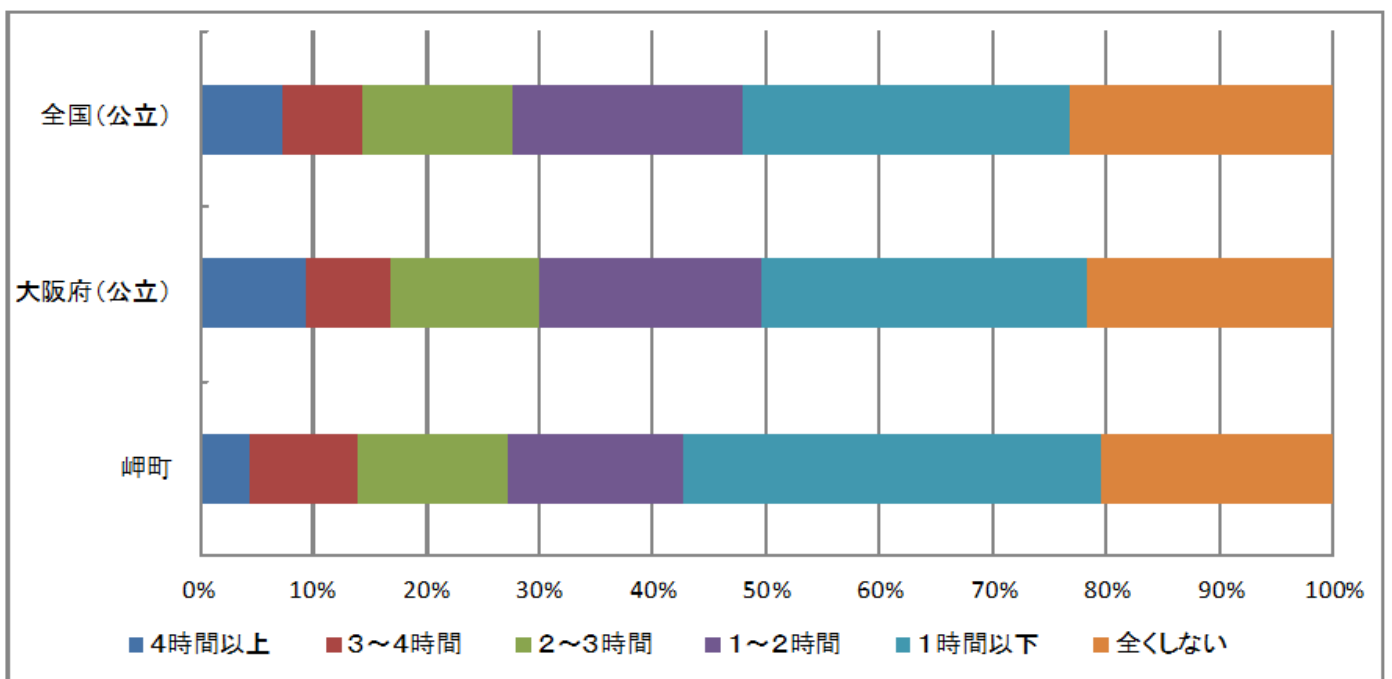


- ◎「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小中学校ともに90%を超えている。
- ◎小学校では、府や全国の平均と比較しても割合が高く、今後とも達成感を得られ、意欲がわいてくる取組みを継続的に実施していく必要がある。

3, ふだん1日どれくらいの時間テレビゲームをしますか（小学校）

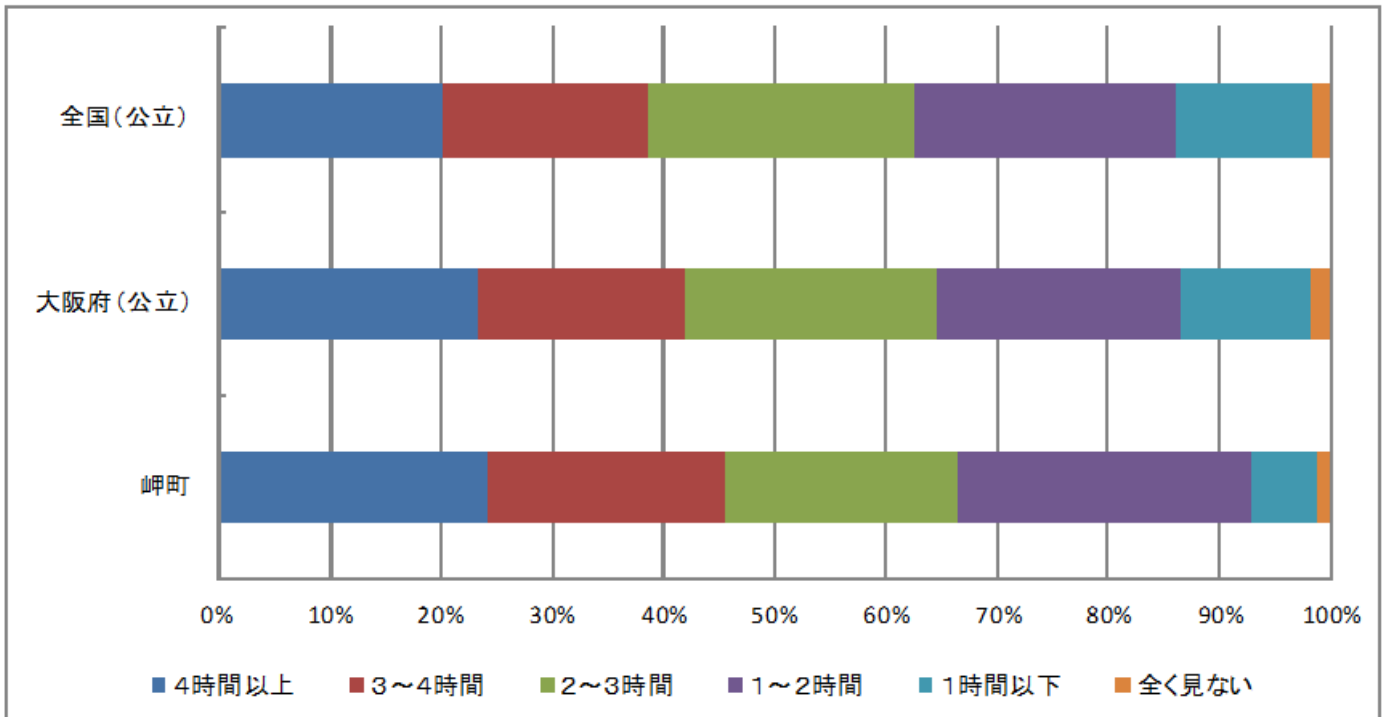


3, ふだん1日どれくらいの時間テレビゲームをしますか（中学校）

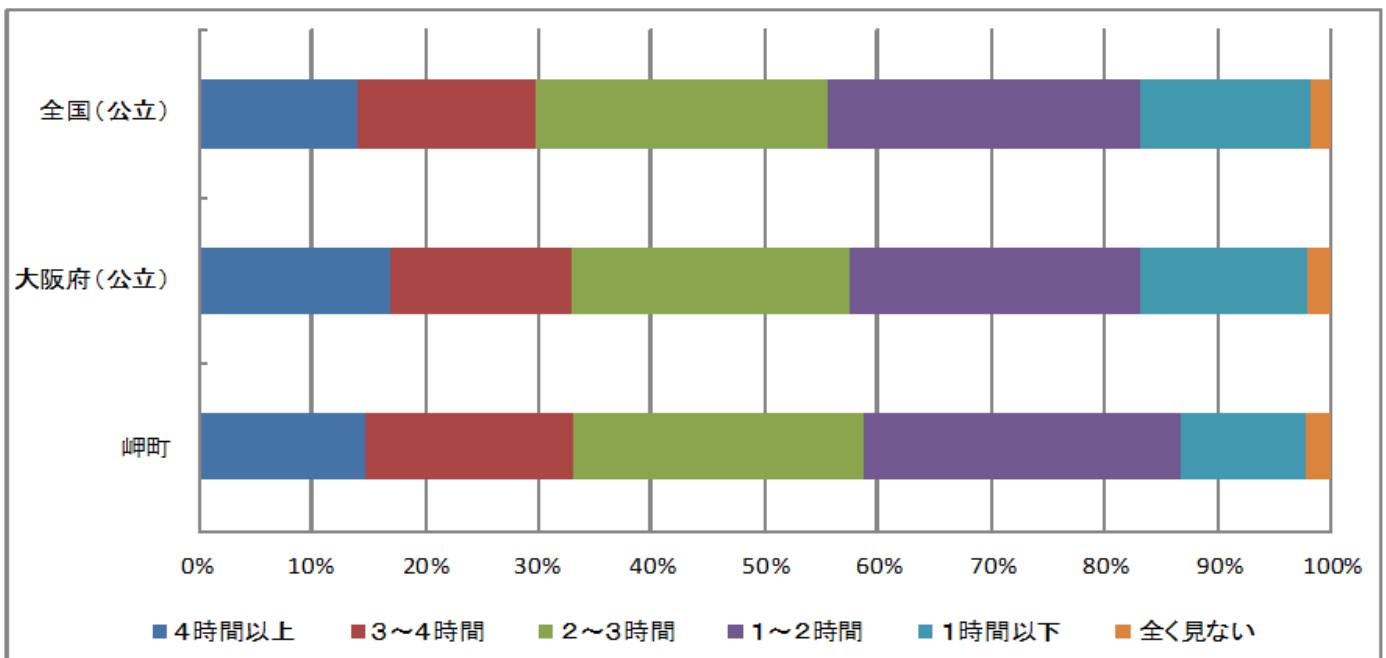


- 前年度と比べて、2時間以上ゲームをしている割合は、小中学校ともに7%程度増加している。小学校においては府や全国の平均より高い割合である。
- 1時間以下と全くしない割合は、小学校において40%弱であり、府や全国の平均よりも低く、ゲームに依存している子どもが多い。

4, ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（小学校）



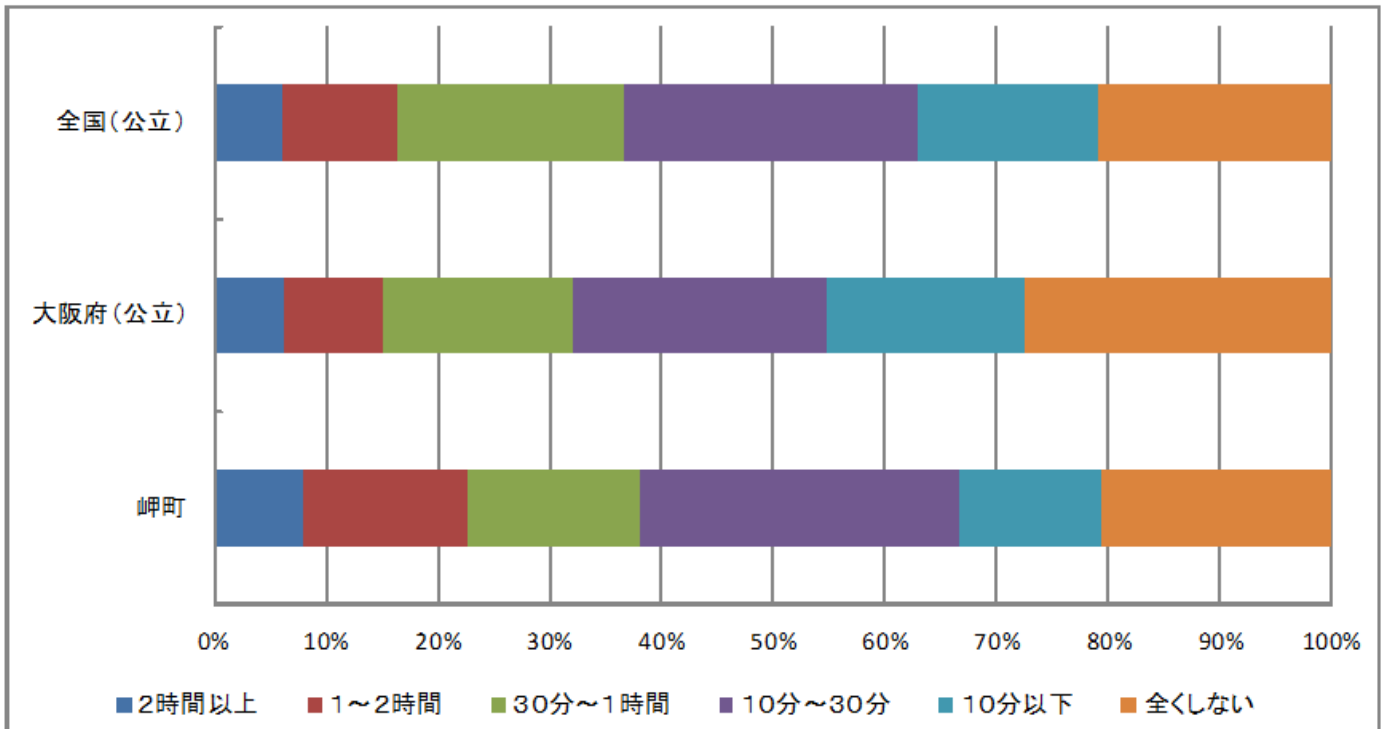
4, ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（中学校）



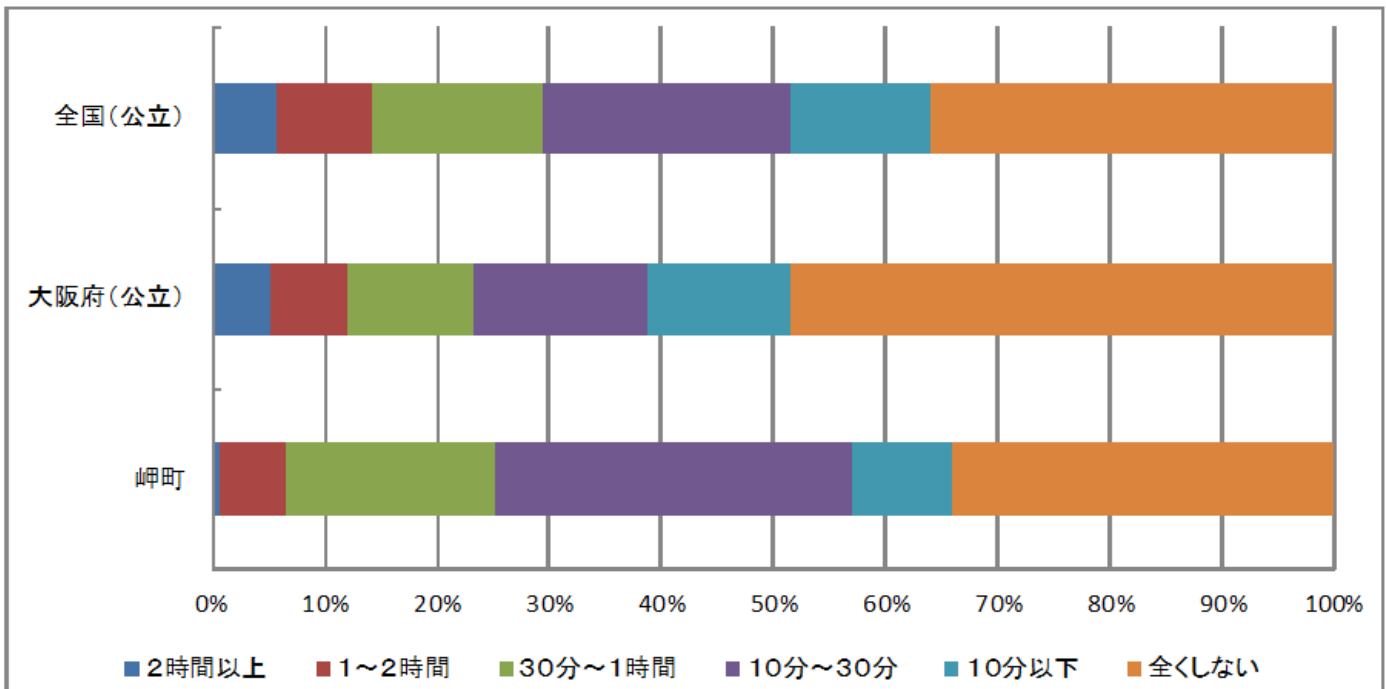
○前年度と比較して、2時間以上見たり聞いたりしている割合は、中学校では6.1%減少している。

●小中学校ともに2時間以上視聴している割合は約60%と高く、テレビやDVDに依存している傾向がある。

5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（小学校）



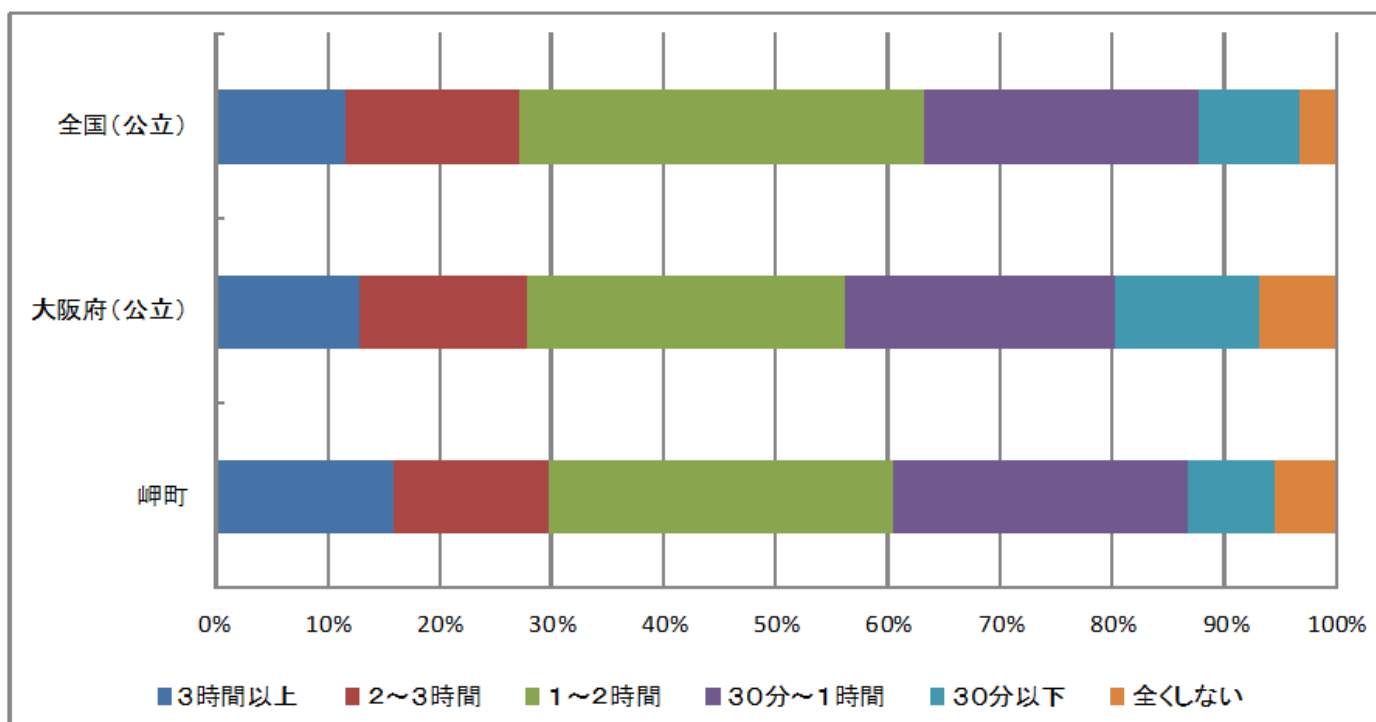
5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（中学校）



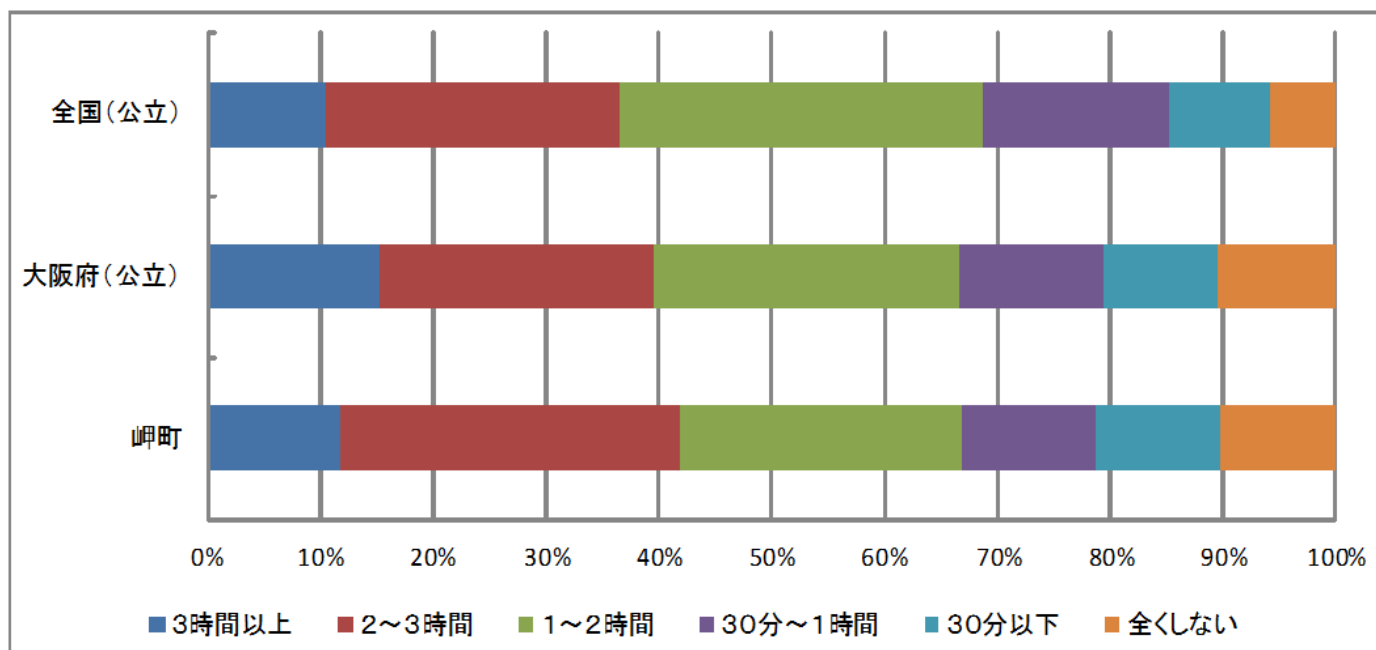
○小学校において、1日のうち30分以上読書している子どもの割合は、37.5%であり、府や全国の平均よりも高い割合である。

●全くしない割合が、前年度と比較して小学校では3%増加、中学校では11%増加しており、読書週間の確立が課題である。

6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（小学校）



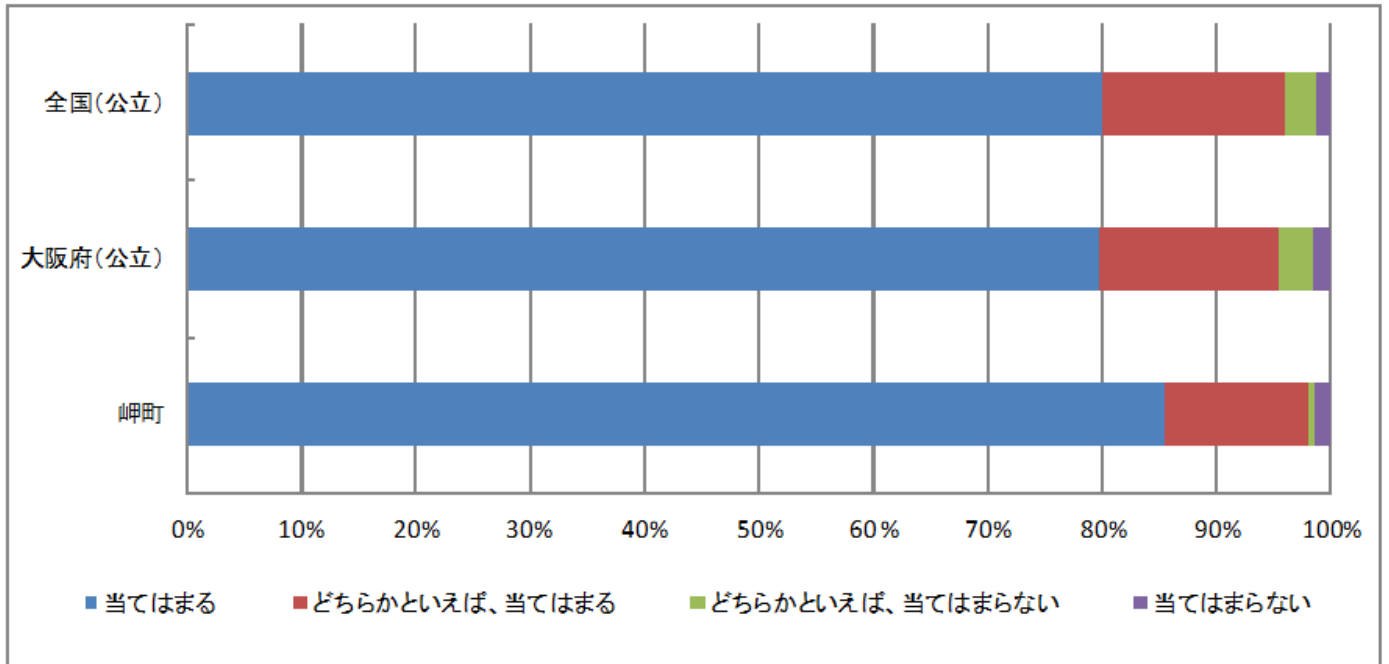
6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（中学校）



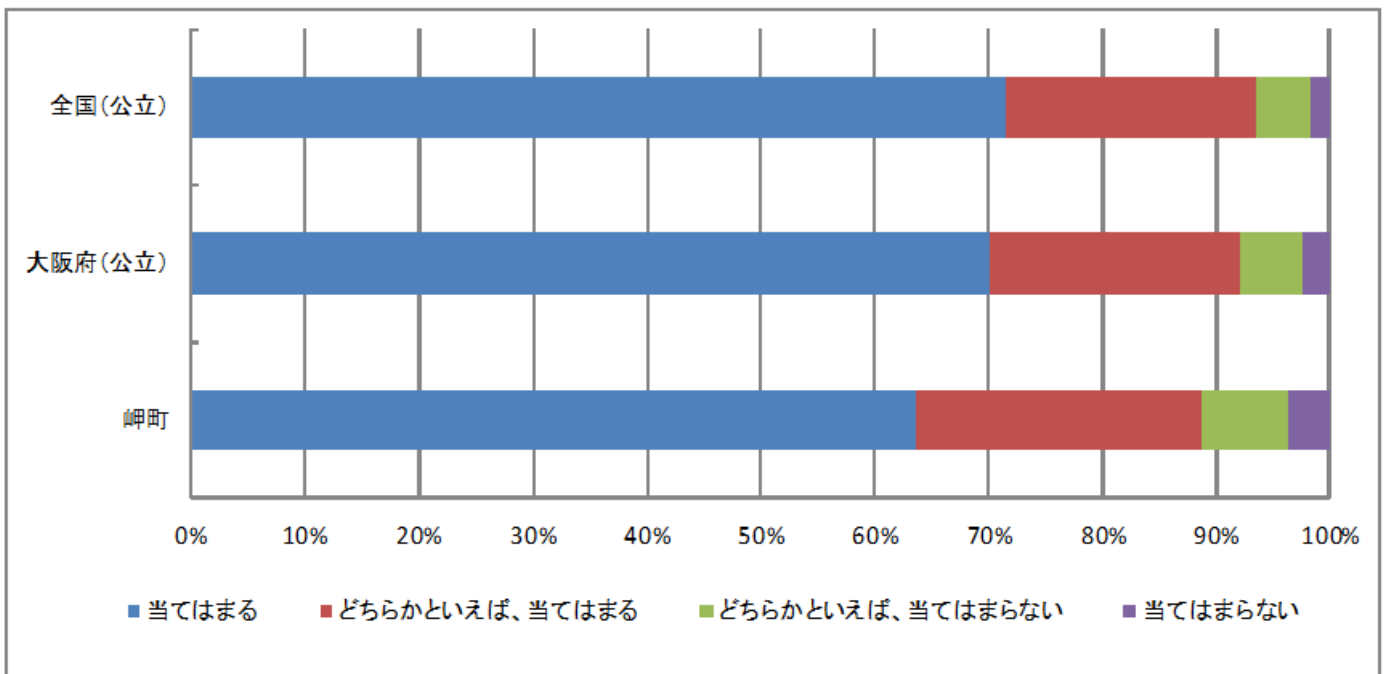
○中学校では、30分～1時間の割合が減少し、2～3時間の割合が増加している。

○前年度と比較して、小学校の「全くしない」割合は同程度であるが、中学校の「全くしない」割合は減少し、家庭で学習する子どもが増加している。

7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（小学校）



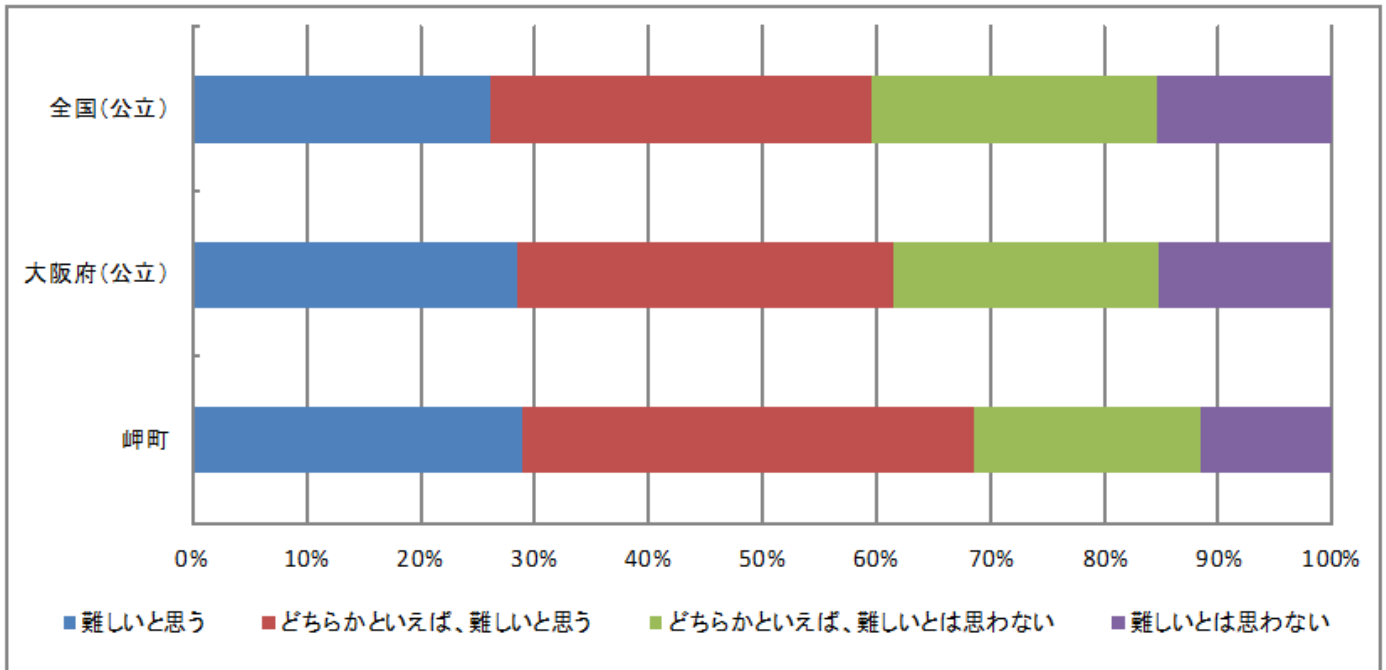
7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中学校）



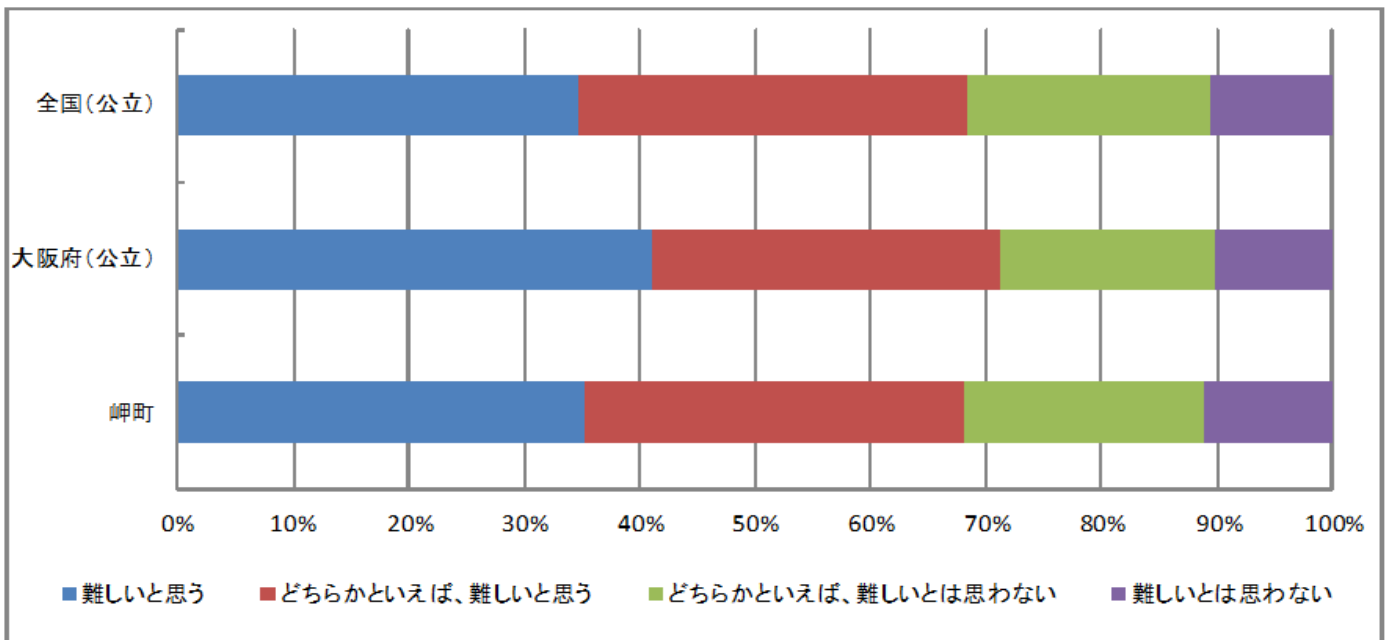
◎「当てはまる」割合は、小学校では85.5%であり、府や全国の平均より高く、各校における人権教育の取組みの成果が見られる。

●「当てはまる」割合は、中学校では63.2%であり、前年度と比較して約20%減少しており、いじめ問題を含む人権教育の取組みを一層進めていく必要がある。

8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（小学校）



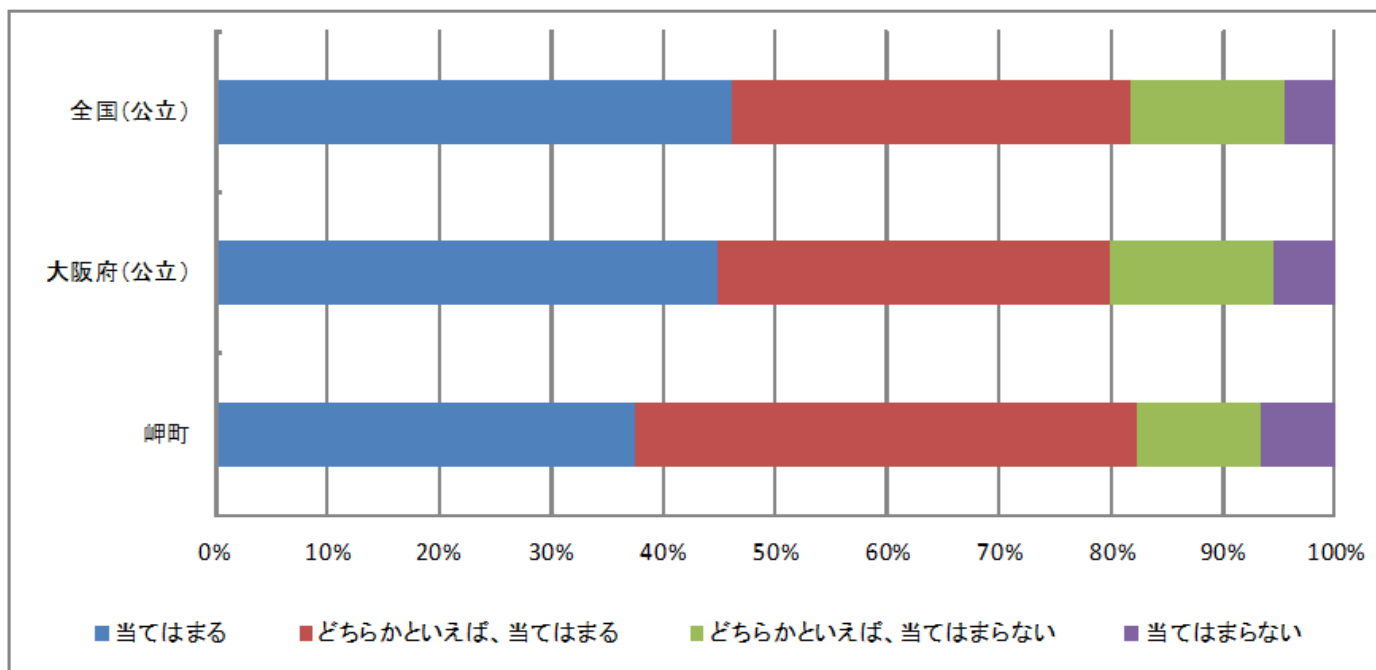
8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（中学校）



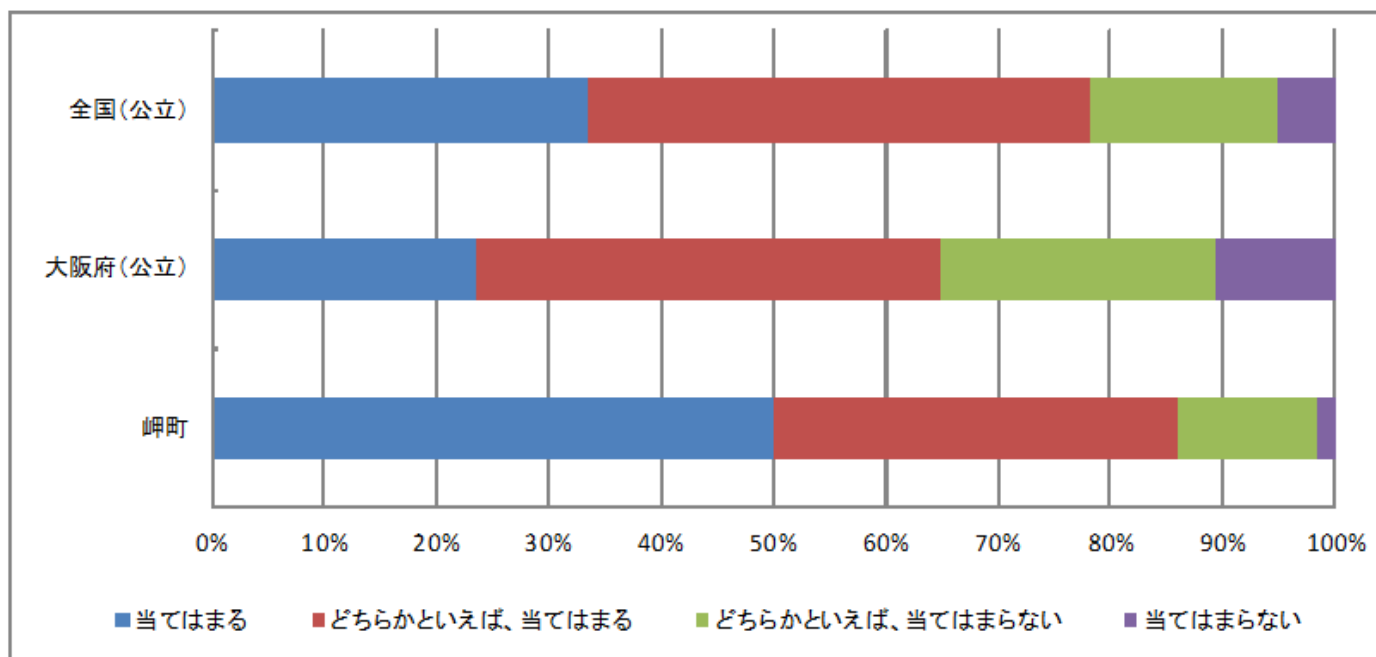
●小中学校とも「難しいと思う」「どちらかといえば、難しいと思う」割合としては、70%程度であり、自分の考えを書き表す取組みを今後とも進めていく必要がある。

○中学校では「難しいとは思わない」「どちらかといえば、難しいとは思わない」が府や全国の平均と比較して高くなっている。

9, 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（小学校）



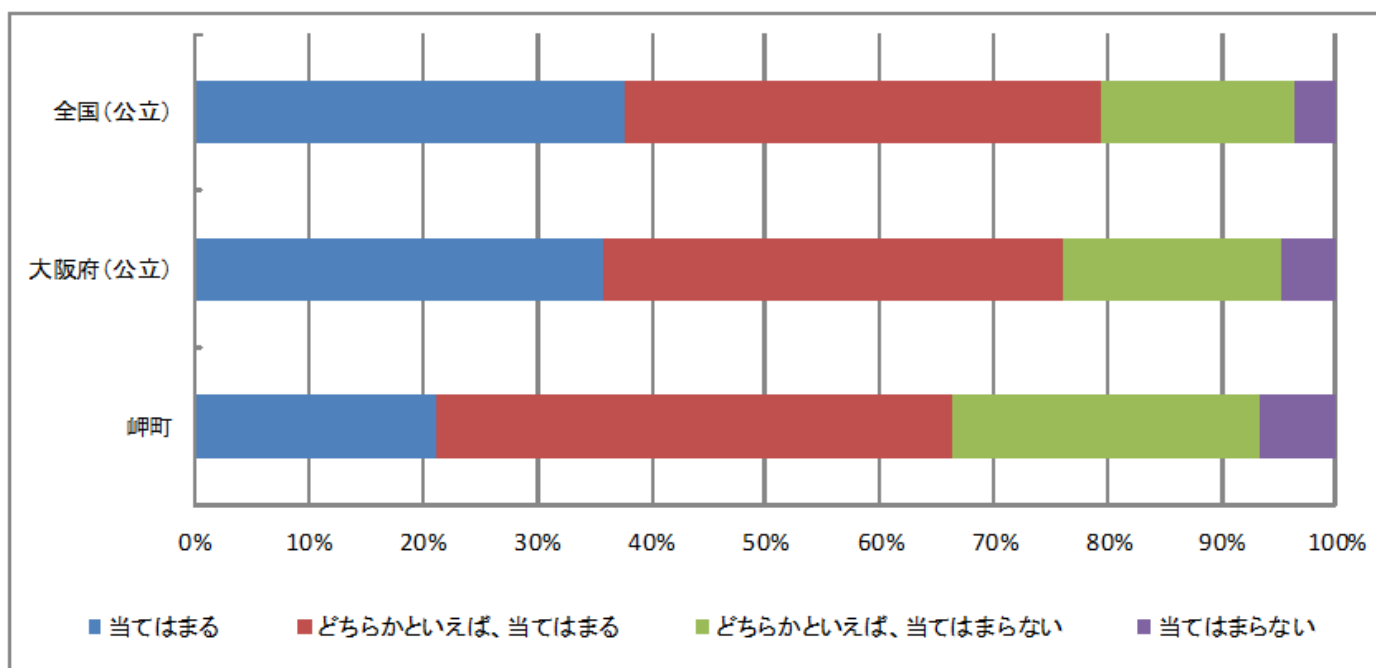
9, 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（中学校）



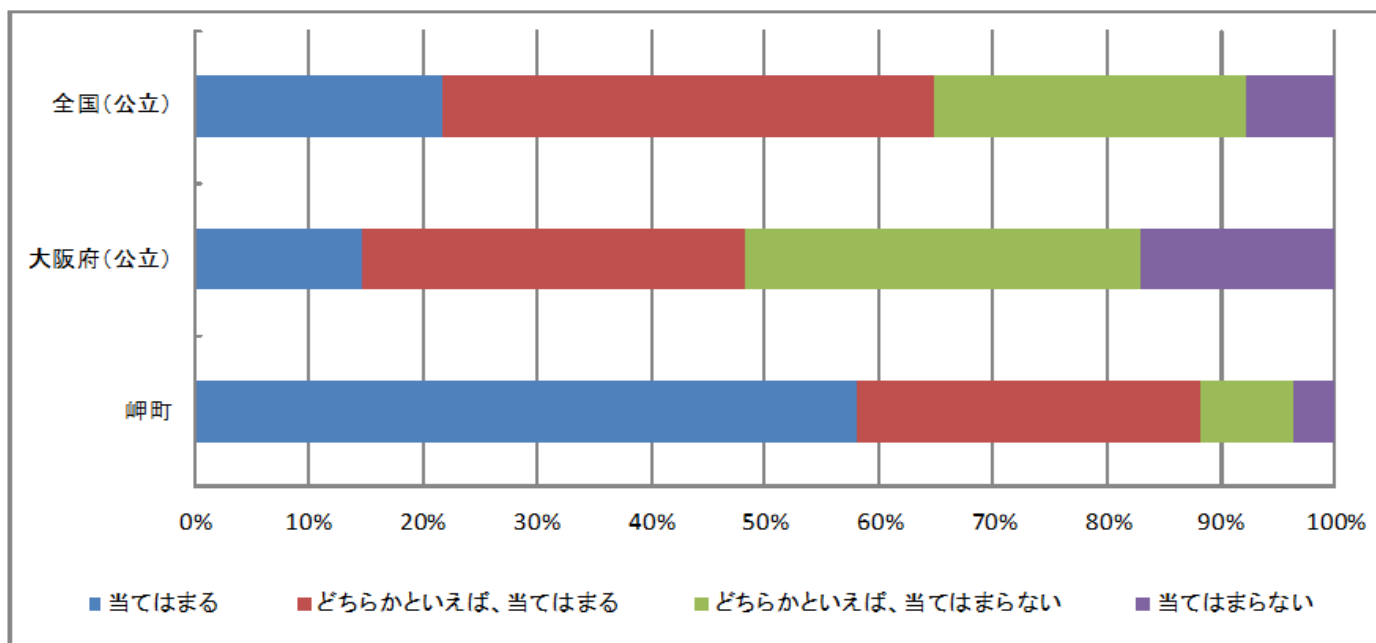
◎小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が82.2%であり、昨年度と比較しても、20%増加しており、各校での授業改善が進んでいるといえる。

◎中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が86.0%であり、中学校においても前年度同様に子どもたちの意見表明をおこなう機会が保障されている。

10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている
 と思いますか（小学校）



10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている
 と思いますか（中学校）



●小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が66.5%であり、昨年度と比べて同程度であり、府や全国の平均より低い。

◎中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が88.2%であり、前年度と同様高く、言語活動が盛んにおこなわれているといえる。